



佐久間象山筆
【孔子図賛】

「象山記念館 展示リスト」

平成29年12月23日（土）～平成30年3月26日

旧館展示室

資料名	作者	年代	指定等	数量	所蔵他
1 恵比寿之像				1幅	赤沢家旧蔵
2 佐久間神溪詩文		年未詳		1巻	近山家旧蔵
3 皇国之名華				1点	
4 佐久間象山所用 陣羽織				1点	
5 象山所用のバックル				1点	象山神社寄託
6 送吉田義卿		嘉永6年(1853)		1点	個人
7 御咎申渡書		嘉永7年(安政元年・1854)9月18日		1点	個人
8 吉田矩方像				1幅	摺物
9 松下村塾記		安政3年(1856)9月4日		1幅	摺物
10 ショメールの『百科事典』		弘化元年(1844)購入		全16冊の内4冊	
11 水盛器(測量用水準器)		弘化3年(1846)		1点	
12 水盛器の台(脚)		(弘化3年・1846)		1点	
13 道程車				1点	
14 地震予知器		安政5年(1858)		1点	
15 乳鉢		不明		1点	
16 蒸留器		不明		1点	松代小学校
17 カメラ(留影鏡)模型				一式	
18 口上覚(忌服届)	佐久間格二郎	元治元年(1864)7月12日		1点	近山家旧蔵
19 達書(知行並屋敷地召上げ)		元治元年(1864)7月14日		1点	近山家旧蔵
20 皇国之名華				1点	
21 象山神社建立会趣意書		昭和7年(1932)		1点	
22 『象山先生詩鈔』下	北澤正誠ほか編	明治11年(1878)		1冊	日就社
23 『信濃英傑佐久間象山大志伝』上	清水義寿著	明治15年(1882)		1冊	高美屋甚左衛門
24 『象山翁事蹟』上・下	松本芳忠著	明治21年(1888)		1冊	
25 象山神社境内図		昭和10年(1935)		1点	象山神社寄託
26 象山先生像	寺瀬黙山			1点	
27 指示型電信機(模型)				1点	

真田宝物館では、松代文化財ボランティアが選ぶ

「真田宝物館名品展」開催中

平成30年3月26日(月)まで

新館展示室

資料名	作者	年代	指定等	数量	所蔵他
28 大筆(佐久間象山所用)	佐久間象山	不明		1本	象山神社寄託
29 桜賦(レプリカ)	佐久間象山	(万延元年・1860)		1幅	象山神社寄託
30 水墨山水画(レプリカ)	佐久間象山			1幅	象山神社寄託
31 七言律詩	佐久間象山	天保9～10年(1838～39)		対幅	坂本氏旧蔵 9 宮本仲コレクション
32 柱聯(ちゅううれん)土代	佐久間象山	安政4年(1857)		対幅	坂本氏旧蔵35 宮本仲コレクション
33 臨書・顔真公墨帖	佐久間象山			対幅	坂本氏旧蔵70 宮本仲コレクション
34 省けん録中の語(余年二十以後乃..)	佐久間象山			1幅	個人
35 七絶(霧淞...、昨夜...)	佐久間象山	晩年		対幅	坂本氏旧蔵49 宮本仲コレクション
36 迅発撃銃説	佐久間象山	安政4年(1857)		1幅	坂本氏旧蔵36 宮本仲コレクション
37 五言二句(貞松千年樹)	佐久間象山	晩年		1幅	坂本氏旧蔵55 宮本仲コレクション
38 七言律詩(冬日喜江都酒至)	佐久間象山	万延元年(1860)		1幅	坂本氏旧蔵37 宮本仲コレクション
39 読仏書五言古併説	佐久間象山	万延元年(1860)		1幅	坂本氏旧蔵38 宮本仲コレクション
40 七言絶句(千枝...)	佐久間象山	晩年		1幅	坂本氏旧蔵50 宮本仲コレクション
41 楠公図賛(絵・可庵筆)	賛・佐久間象山	安政3年(1856)		1幅	坂本氏旧蔵79 宮本仲コレクション
42 孔子図賛拓本)	佐久間象山			1幅	真田宝物館
43 扇面 五言古詩	佐久間象山			1点	坂本氏旧蔵58 宮本仲コレクション
44 扇面 偃松歌	佐久間象山			1点	坂本氏旧蔵59 宮本仲コレクション
45 扇面 五言古詩(夏日偶成)	佐久間象山			1点	坂本氏旧蔵60 宮本仲コレクション
46 短歌 さきいつる	佐久間象山			1点	坂本氏旧蔵66 宮本仲コレクション
47 短歌 をりにあへは	佐久間象山			1点	坂本氏旧蔵67 宮本仲コレクション
48 短歌 苗しろの	佐久間象山			1点	坂本氏旧蔵68 宮本仲コレクション
49 短歌 あとつけて	佐久間象山			1点	坂本氏旧蔵69 宮本仲コレクション
50 佐久間象山印章	佐久間象山所用			5点	近山家旧蔵
51 唐墨(蔵煙 書素功防古)	佐久間象山所用			1点	近山家旧蔵
52 硯	佐久間象山所用			5面	象山神社寄託

2017年5月19日、古美術蒐集家である坂本五郎氏より、明治時代の医師であり、佐久間象山研究家としても知られる宮本仲が収集した「佐久間象山遺墨コレクション」が一括寄贈されました。
坂本氏は、このコレクション蒐集について次のように述べられています。

私は、戦後、東洋古美術を中心にさまざまな美術品に出会った。其の長い道程の中、不図、信州の出自、宮本仲翁が終生かけたコレクション「佐久間象山の書」の一群を伝得する幸運に恵まれた。佐久間象山の偉大さは、十分心得ていた。同時に、これら遺墨が象山の人と成りを投影する貴重な存在であることを何より尊んだ。さらに、翁生前に手許を離れた遺墨に、一再ならず巡り会った。これまた、翁の遺志に想いを馳せ、逃すことなく、順次、収蔵に加えていた。これらを図版で掲出し、すべてに釈文を付した本にまとめておけば、今後の佐久間象山研究の基本文献になること必定、と。この様な思いを胸に秘めながら、このコレクションを大切に持ち続けた。

『新修 佐久間象山遺墨集』より

ここに、坂本氏のご芳志に添い、広くコレクションを公開するとともに、永く保存し、活用させていただきます。

※真田宝物館でも、坂本氏より寄贈いただいた象山遺墨コレクションの一部を展示しています。